

発行所

株式会社FPシミュレーション

大阪府中央区平野町3-1-10 Tel :06-6209-7678

編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

◇ 租税滞納残高・3年連続で減少

Q : 平成13年度の租税滞納状況が発表されたようですが、どのような状況でしょうか。

A : 滞納残高が3年連続で前年度を下回っています。

【解説】

国税庁は、平成13年度租税滞納状況の速報値を発表しました。

それによると、新規発生滞納額は全税目で12,159億円（前年比90.6%）、そのうち消費税は5,795億円（同96.9%）です。

整理済額は全税目で13,985億円（同97.1%）、そのうち消費税が5,911億円（同98.5%）となっています。

また、滞納整理中のものの額は、全税目で24,842億円（同93.2%）、そのうち消費税が6,183億円（同98.2%）となっています。全税目で滞納残高が前年度を下回ったのは、平成11年度以来3年連続、消費税滞納残高については、昨年度に引き続き2年連続で前年度を下回ることになりました。

滞納残高の圧縮には、数々の施策が功を奏しています。納税貯蓄組合等民間団体による納税資金の備蓄を消費税滞納の未然防止策の1つとして推進しています。金融機関による消費税積立預金の開設状況を見ると、平成10年10月に1金融機関だったのが、平成14年3月には373金融機関にまで数を伸ばしています。

また、東京局で4月中旬から末までの半月で行った電話催告400件のうち、6月末時点でその34.6%が完納、12.9%が納付誓約を取り付け分割納付に移行しているということです。

